

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	技術基準対象施設の維持管理技術に係る人材育成等に必要経費		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	港湾局		担当課室	技術企画課	課長 吉永 清人	
会計区分	一般会計		上位政策	海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾の施設については、今後、老朽化が進展し、維持・更新費用が増大することが見込まれており、整備後の港湾の施設を計画的かつ適切に維持管理を行って維持・更新費用の最小化を図りつつ長期にわたって有効に活用していくことが不可欠なものとなっている。よって、効果的な維持管理を実現していくために必要となる人材の育成等、国として必要な取り組みを進める。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	港湾施設の維持管理技術の体系的な集約整理による維持管理技術の向上等を推進するとともに、維持管理に係る技術的知識・技能及び法的責任に関する知見等の習得のための研修を実施する。					
実施状況	平成20年度及び平成21年に新たな維持管理技術に係る知見の整理を実施。 平成21年度において港湾施設の維持管理に関する研修を2回開催。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	4	3	3	3
	執行額	-	3	2		
	執行率	-	75.0%	66.6%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	港湾局が自ら契約等を行う業務であることから、支出先や用途については全て把握している。また、支出にあたっては検査等を行い実施内容の確認を行っている。				
	見直しの余地	職員に対する研修の成果が十分かどうか、引き続き検討を行う。また、予算の執行にあたっては、発注を一般競争による合理的かつ効率的な方法で行ってきたが、引き続き予算の執行方法の合理化・効率化の余地について検討を行う。				
予算監視の効率化	【一部改善】 職員に対する研修の成果が十分かどうか精査を行い、必要な見直しを行うとともに、予算の執行に当たり、予算の執行方法の合理化・効率化を図るべき。					
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・038 総合的物流体系整備推進費 ・95 総合的物流体系整備の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2129-06 諸謝金 0.1百万円 0.1百万円 ・95016-2123-09 総合的物流体系整備推進調査費 3百万円 2百万円 					

国土交通省

2百万円

維持管理技術に係る人材育成等の
総合調整・業務発注を行う。



【一般競争】

A. 国際気象海洋(株)

2百万円

維持管理技術に係る人材育成等
のための情報収集・資料作成を
行う。

諸謝金
0.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて捕捉する)
(単位:百万円)

A. 国際気象海洋(株)

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	港湾構造物の点検診断における省力化技術の整理業務	2			
計		2	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)